

事業名 民話の語りと影絵と音楽の  
コラボレーション  
事業主体 いなかなかなかいいなあ  
プロジェクトチーム  
代表者 田村 優子(平内新)  
補助金 18万5千円

村内外から200人以上の観客!

東桂苑という歴史ある空間の中で、影絵と音楽と効果音を融合させることで芸術性の高い作品に仕上がりました。

昨年は東桂苑と村民会館を会場に「大里峠大蛇伝説」など3回公演し、村内外から老若男女を問わず、200人を超える観客が集まりました。

今年度も開催します!

好評だった「民話の語りと影絵と音楽のコラボレーション」を今年度も開催します。詳しい日程などについては、今後広報せきかわお知らせ版などに掲載する予定です。



事業名 地域循環型農業プロジェクト  
「懐かしくて新しい」伝統  
穀物の利活用  
事業主体 循環型農業プロジェクトチーム  
代表者 大島 勉(上野新)  
補助金 150万円

伝統穀物を使った商品開発

村内の耕作放棄地や減反地において、10品種の伝統穀物を生産。今後の販売を念頭に「もち粟」を使った中華はるまきや「もちきび」を使ったコロッケ、「粒そば」を使ったソーセージ、「高きび」を使ったハンバーグなど安全・安心な商品の試作を重ねてきました。



関川の風土資源を活かした  
商品づくりに挑戦!

この地域で受け継がれてきた技術や知恵を活用し、懐かしく、そして現代のニーズに合った安全・安心な商品づくりに努めていきます。

県外からの視察も多く、その取り組みが注目されている(株)セタでは、県のブランド登録に向けて準備を進めています。ブランド登録されると「関川村」そして「関川村の苔」が全国に

遊休農地を活用した  
苔栽培  
株式会社セタでは、採取した苔を特許技術によって加工し、屋上緑化の製品として販売しています。この村の遊休農地と恵まれた環境に魅力を感じ、ここで苔の栽培に挑戦したいと昨年からの活動を続けてきました。これまで、土沢集落や上関集落の休耕田や耕作放棄地などで苔を栽培。秋には風雨の影響、そして冬は大雪の影響で苔の成長が遅れるなどの被害を受けたものの、地蒔きしたものは発芽も良く、今後につながると手ごたえを感じています。

発信され、村の活性化につながることを期待されます。また、県内の一部ホームセンターでも販売されることになりました。



現役の庭師でもある田中社長、過去にはTVチャンピオンに出演!  
(株)セタの社長である田中さんは、苔の精通者でありながら、現在も庭師として活躍中。過去にはTV番組に出演するなど、創造性あふれる感性と、その実力は今も注目されています。

事業名 関川村発信環境ビジネスで地域活性化事業  
事業主体 株式会社セタ  
代表者 田中直志(上関)  
補助金 100万円

## 《～特集～ キラリと光る地域活性化事業》(4)

事業名 地域活性化と観光客誘致  
 事業主体 NPO法人 渡辺家  
 代表者 渡邊美恵(新潟市)  
 補助金 30万円

### 東桂苑を有効活用したい!

東桂苑を有効活用し、観光客を誘致したいと、昨年9月に、津軽三味線奏者の小林史佳さんなどを招いて演奏会を開催しました。また、11月には紅葉の美しさをアピールするため、竹あかりを用いて、もみじをライトアップ。暗闇の中、幻想的に浮かび上がる紅葉の姿を観ようと村内外から観光客が訪れました。

### 東桂苑の魅力を再発見!

音楽・文化・芸術などをテーマにしたイベント等を開催し、交流の場として活用できるよう取り組んでいきます。また、贅沢な時間を過ごせる空間であることや庭園の美しさなどのPRに努めます。



事業名 大島集落共同集出荷場および産直市場開設事業  
 事業主体 大島農家組合  
 代表者 傳 智揮(大島)  
 補助金 50万円

### 生産意欲の向上で地域の活性化!

大島集落内に農産物直売所を開設し、農家の生産意欲向上を地域の活性化につなげようと、大島農家組合が中心となって準備を進めてきました。直売所の名称は『女女好子』(めめよし)に決定。「味はもちろん、見た目の良い農産物を揃えたい」という想いのこもったインパクトのある名前をつけました。



### 第1号店は7月14日にオープン!

記念すべき第1号店は古泉堂前(越後大島駅前)に出店することが決まり、7/14のオープンに向けて準備を進めています。新鮮な農産物が揃っていますので、ぜひご利用ください。

「関川発! にいがた地鶏」を有名にしたい  
 「にいがた地鶏の評価は徐々に上がってきてはいるものの、もっともっと頑張らなければいけない」という早坂さん。今、商品開発しているものが上手くでき

調理機材をそろえ、  
 新商品の開発に着手!  
 にいがた地鶏の生産を手掛けた。今年で8年目に突入しました。現在、県内における生産量の4分の1を占めています。  
 これまでに、自慢の地鶏を使ったさまざまなメニューを開発し、村内外で行われる各種イベントにも参加するなど、にいがた地鶏のPRに努めてきました。  
 にいがた地鶏と村内で生産された農産物を使用した新たな商品を開発し、村内外へ発信したいと、地域活性化事業補助金を活用し、ガスレンジや冷凍冷蔵庫などの調理機材をそろえました。

事業名 チキンハウス関川  
 事業主体 アグリ早坂  
 代表者 早坂ノエミ(深沢)  
 補助金 200万円



れば、自分だけでなく、この村にとっても必ずプラスになると信じています。  
 農家レストランの開業  
 夢の実現に向けて  
 アグリ早坂の大きな夢、それは、にいがた地鶏と関川産の農産物を使った農家レストランを開業することです。課題は山積みですが、夢の実現に向けて新メニューの開発に日々取り組んでいます。